

同志社大学教育の3つのポリシーを策定するための基本方針

同志社大学は、入学者選抜から学位授与までの教育の諸活動を一貫するため、下記のとおりディプロマ・ポリシー（以下「DP」という。）、カリキュラム・ポリシー（以下「CP」という。）及びアドミッション・ポリシー（以下「AP」という。）を一体的に策定する。

記

1. 策定の単位

①DP

学部においては学科単位、研究科においては課程別専攻単位とし、その中で複数の学位を授与している場合は、学位プログラム単位の記述を原則とする。

②CP

○学部においては学科単位、研究科においては課程別専攻単位とし、その中で複数の学位を授与している場合は、学位プログラム単位の記述を原則とする。

○学位授与のない教育プログラムや複数学部・研究科横断型の教育プログラムにおいても、次のとおりCPを策定する。

- ・全学共通教養教育センターにおいては、科目区分を単位とする。
- ・グローバル教育センター及び日本語・日本文化教育センターにおいては、カリキュラム全体を単位とする。
- ・免許資格課程センターにおいては、各課程を単位とする。
- ・高等研究教育院においては、教育プログラムを単位とする。

③AP

学部においては学科単位、研究科においては課程別専攻単位とし、その中で複数の学位を授与している場合は、学位プログラム単位の記述を原則とする。

2. 記述方針

①DP

学部学科、研究科専攻が養成する資質・能力について、学力の三要素の要素別に記述する。

②CP

○DPで明示した資質・能力を実現するためのカリキュラム編成（配当科目の内容）と運営方針（配当単位数、授業実施方法）を説明する。

○高校教育から大学教育に至る学力の三要素の連続性・接続性を意識して、各要素との対応関係を示す。

③AP

○学力の三要素の要素別に、どのような能力を身に付けてきた学生、身に付けようとしている学生を求めているかを説明する。

○高等学校段階までの学習で身に付けて欲しい事項を、教科や科目ごとに説明する。

○取得しておくことが望ましい資格等があれば明示する。

○入学者選抜において、APを具現化するためにどのような評価方法を活用するのか、それぞれの評価方法をどの程度の比重で扱うのか等を説明する。

以 上